



# 県民の森 だより

## 3 2017 月号

みやぎの森林・林業写真コンクール  
中央記念館 1階展示ホールにて  
開催中です(20日(月)まで)

**発行** 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

今年は雪が少なく、園内の雪かきも数えるほどで済んでしまいました(腰痛で悩まされることもなく...)。3月になり暖かくなりつつありますが、まだ積雪の心配があるうちは引き続き、青少年の森～青麻神社方面の急坂(通称2号幹線)は通行を制限する場合がございますので、どうぞご了承下さい。

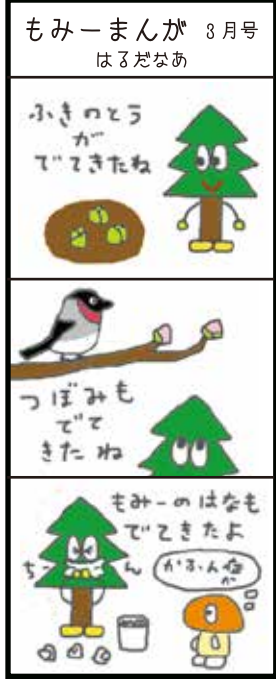
### 松陵5丁目近辺、山林火災多発

2月15日(水)14時頃、泉区松陵5丁目の山林①から出火する山林火災があり、約45分後に260mほど南の鶴が丘4丁目北公園西側の山林②からも出火し、山林約5230㎡が焼失しました。最初の現場である①の仙台市所有の法面から、県民の森内こならの道にも延焼し、園内も約70㎡ほどが被害を受けました。



さらに2月19日(日)12時10分頃、①の現場のすぐ隣の③から出火、松陵中学校側法面560平方メートルが焼失しました。警察・消防による現場周辺のパトロールも強化されておりますが、一刻も早く原因が解明されることを切望致します。

県民の森では引き続き5月17日まで防火巡視を続け、園内・周辺防火に努めて参ります。  
※現在この火災による県民の森園内遊歩道の通行止箇所はありません。



もみだけど、スギ花粉症

### 2月のイベント報告

冬場の大人向けイベントとして、今冬は竹クラフト講座としては初の試み「竹かご編み・六ツ目かご」(全3回)を開催しました。1月22日の1回目は底編みを練習し、2回目の2月26日は竹ヒゴを使い、底編みから立ち上



げまでの工程で進みました。自宅で練習してきた方もおり、みなさん作業に集中して終了時間も忘れるほどでした。

最終回3月12日は、縁巻きをして、いよいよ完成となります。

### 県民の森名木紹介 vol.28 シロダモ

この木は県民の森ではほぼ全域で見られますが、大きな個体はあまり多くはありません。図鑑によれば、雌雄異株とあるように写真左の木のみが、昨秋赤い実を沢山付けていてその事がよく分かりました。



2本とも、樹高7～8メートルで比較的大きく、雌雄やや離れている微妙な距離にあります。併せて紹介するものです。「とうはつの森」にあります。(工藤)

### 今月の けんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのもり



セリハオウレン (キンポウゲ科) 芹葉黄連

名前は葉がセリに似て、根が黄色く連なっていることにより。この仲間は古くから“加久末久佐(かくまくさ)”“山草(やまくさ)”と呼ばれていました。漢方では生薬名をオウレン(黄連)と呼び、止血や苦味健胃薬として利用されます。(駒野)



アセビ (ツツジ科) 馬酔木 別名アセボ・アシビ…植栽木

名前は馬がしびれて酔った状態になることに由来しています。花はスズランに似た可愛い花を咲かせます。綺麗な花から花言葉は“清純な心”ですが、怖い有毒植物です。用途は葉を煎じて殺虫剤として利用されます。中央記念館東側に植栽されています。(駒野)



シメ (アトリ科)

太いくちばしに短い尾羽、すんぐりとした体形が特徴の冬鳥です。目の周りが黒いので怖い顔に見えます。現在ピンク色のくちばしは、夏になると灰色に変わります。今年は中央記念館のえさ台にもやって来て、アトリを追い払い君臨していました。(入岡)



ミソサザイ (ミソサザイ科)

ウグイスとも違う大きな声の地鳴きが聞こえて、ふと見ると、ミソサザイがちよこまかと動き回っていました。尾羽をびんと持ち上げる姿が特徴的です(写真はちょっと控えめ)。水辺近くの薄暗いやぶがお好みようです。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「3月・4月のイベント情報」をご覧ください